



# THE 1<sup>st</sup> WORLD GLAUCOMA DAY

MARCH 6, 2008

**A joint initiative of the WGA and the WGPA**



## World Glaucoma Association (WGA)

Ivan Goldberg,  
*President (AU)*  
Remo Susanna (BR)  
*President Elect*  
Robert N. Weinreb,  
*Immediate Past President (US)*  
Roger A. Hitchings,  
*Past President (UK)*  
Erik L. Greve,  
*Vice President (NL)*  
H. Caroline Greve-Geijssen,  
*Executive Vice President (NL)*  
Kuldev Singh,  
*Executive Vice President Elect (US)*  
Jian Ge (CN)  
Makoto Araie (JP)  
Franz Grehn (DE)  
Daniel Grigera (AR)  
Yoshiaki Kitazawa (JP)  
Ted Krupin (US)  
Dennis Lam (HK)  
J. Liebmann (US)  
Ravi Thomas (IN)

## World Glaucoma Patient Association (WGPA)

Scott Christensen  
*President (US)*  
Beverley Lindsell  
*Vice president (AU)*  
Sherry Holte  
*Secretary (US)*  
Anny Loew  
*Treasurer (Singapore)*

## Physician Liaison Committee

Ivan Goldberg  
*Co-Chair (AU)*  
Robert Ritch  
*Co-Chair (US)*  
George Lambrou  
*Executive Vice Chair (GR)*

## Global coordination

George Lambrou  
*Global Project Leader*  
Patriarchou Ioakeim 54  
10676, Athens / Greece  
T + 30 210 7222 722  
F + 30 210 7222 747  
M + 30 6948 947 852  
george@lambrou.eu  
www.wgd.org

## Coordination of Japan

日本緑内障学会事務局  
東京都文京区本郷 3-20-6  
本郷平野ビル 4 階  
TEL : 03-3811-0309  
FAX : 03-3811-0676  
Email:  
gakkai@g-jimukyoku.jp

平成 20 年 1 月 8 日

## 「世界緑内障の日」のお知らせ

ご存知のように、緑内障は失明疾患の上位を占め 1995 年の WHO の報告では緑内障は白内障、トラコーマに続く第 3 位の失明原因であり、失明の 15% を占めると推定されています。また、わが国で行われた疫学調査をはじめ近年世界各国で行われた疫学調査結果を基にした推計では、世界的には開放隅角緑内障、閉塞隅角緑内障の患者数は 2010 年には 6,000 万人となり、2020 年には 7,960 万人に増加すると予測され、緑内障による両眼失明者数は 2010 年には 840 万人、2020 年には 1,111 万人に達すると予測されています。

このような背景を踏まえ、世界での緑内障による失明者を減らすことを目的として、このたび世界各国の緑内障学会が加盟する World Glaucoma Association (WGA)、ならびに緑内障患者団体が加盟する World Glaucoma Patient Association (WGPA) によって 2008 年から 3 月 6 日を世界緑内障の日 (World Glaucoma Day) と定め、毎年、各国で緑内障啓発活動を行うことが決定されました。

今後、各国の国情に応じて、メディアによる啓発、無料診療、ポスター配布、記念切手発行など様々な催しが行われる予定ですが、日本緑内障学会と致しましては、期日も迫っていることから、2008 年は 3 月 8 日 (土曜日) に東京で市民公開講座を WGPA 日本会員の緑内障フレンドネットワーク協力により開催し、その後、徐々に啓発活動を拡大していく予定です。

日本緑内障学会理事長  
新家 眞